

地区：岩沼市 震災語り部
ジャンル： 震災語り部 まち歩き

対象： 教育
旅行

岩沼みんなの家のSDGs研修 ～みんなの震災伝承・防災学習～



学びのポイント

- ・東日本大震災の津波で被災した岩沼市沿岸の玉浦地区と防災集団移転先の玉浦西地区をフィールドに、震災の被害状況と教訓、多重防御の津波対策などの復興事業を学ぶことで、SDGsゴール11「住み続けられるまちづくりを」への理解を深められます。
 - ・震災の発災時や復旧・復興期に、住民同士、住民と学校や行政など、日頃からの地域内のつながりが機能した教訓から、地域コミュニティの役割と重要性、人と人が協力し合える関係性の構築が“防災力を高めることを学びます。
 - ・インフォコム株式会社により建てられた「岩沼みんなの家 by infocom」が、津波で被災した沿岸地区と集団移転先として新たに造成された地区をつなぎ、人々の交流の場としての役割を担っていることから、企業が取り組むCSR活動(※)の実例を学ぶことができます。
- ※CSR活動：CSRはCorporate Social Responsibility の略で「企業の社会的責任」と訳されます。企業も社会を構成する一員であり、自社の利益だけを追求するのではなく、社会の一員として果たすべき責任があるとの考え方のもとに行う活動です。

1. 内容

説明	仙台市中心部から南へ18km、仙台空港を有する岩沼市では、平野が市内広範囲に広がる地形により、東日本大震災で市域の約48%が津波で浸水。宮城県内の自治体で最大割合の浸水面積となり、仙台空港周辺の工業地帯や、農業が盛んな沿岸の玉浦地区などの各地で甚大な被害を受けました。 「岩沼みんなの家 by infocom」は、インフォコム株式会社が復興支援の活動拠点として建設したコミュニティ施設です。震災直後から岩沼市で農業支援活動を行ってきた同社では、息の長い支援を行うため、建築家 伊東豊雄氏が推進する復興街づくりプロジェクト「みんなの家」に参加。地域の“みんな”が集い、絆をつなぎ、交流ができるよう、沿岸部からの防災集団移転でできた新しい街「玉浦西地区」のそばに岩沼みんなの家を建設しました。 また、岩沼みんなの家に「一般社団法人岩沼みんなのアグリツーリズム&イノベーション」を設立し、SDGs研修プログラムを実施しています。 プログラムでは、地元出身の一般社団法人代表理事による震災語り部や、「千年希望の丘」の見学、岩沼市職員の講話、避難所生活で用いるパーテーションの組み立て体験などを通じ、防災意識と自分の住む地域やコミュニティへの関心を高める学びを体験できます。
実施形態	震災語り部(座学)・車中案内・屋外での案内 ※参加者が乗って来られたバス等に語り部が同乗して案内します。移動手段がない場合は、岩沼みんなの家での語り部、もしくは千年希望の丘での語り部と見学のみになります。実施場所をご相談ください。

2. 情報①

所要時間	約150分～5時間(応相談)
催行人数	4名～最大40名程度まで ※施設の増設工事中 2025年4月より最大50名程度まで受入可能予定
実施可能時間	10:00～17:00 ※5時間プログラムを行う場合、開始時間は午前中からになります
定休日	火・土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
場所	集合場所:岩沼みんなの家 by infocom 案内エリア:岩沼市玉浦地区・玉浦西地区
予約受付	予約受付:一般社団法人 岩沼みんなのアグリツーリズム&イノベーション 案内実施:一般社団法人 岩沼みんなのアグリツーリズム&イノベーション

3. 料金

料金	SDGs研修 1名3,000円(税込・応相談) ※教育旅行、学生団体以外の企業、団体の受入も行っています 料金はお問い合わせください ※別途オンライン震災語り部、出張震災語り部も可能です オンライン語り部：120分 30,000円(税込) 出張震災語り部：開催料金 30,000円(税込)＋往復交通費、宿泊費など(実費)		
支払い方法	請求書払い	キャンセル ポリシー	14日前～当日は100% ※実施日の前日が1日前となります

4. アクセス

所在地	<集合・解散場所> 岩沼みんなの家 by infocom 〒989-2429 宮城県岩沼市押分 恵み野2-17-5 Googleマップ:https://maps.app.goo.gl/5a8kbQ8StrrXjYHz6 		
駐車場	集合・解散場所の駐車場:岩沼みんなの家 by infocom(普通車10台、大型バス1台) ※ 障がい者等優先駐車場はありませんが、車椅子利用の方は申込時にご連絡ください 視察コース上の駐車場:千年希望の丘(相野釜公園)(普通車73台、障がい者等優先2台、大型バス2台) いわぬまひつじ村(普通車100台、大型バス30台)		
アクセス	車	岩沼みんなの家 by infocom 仙台東部道路 岩沼ICより約4分 仙台東部道路 仙台空港ICより約8分	
	その他	岩沼みんなの家 by infocom <u>タクシー利用の場合</u> JR東北本線岩沼駅より約12分 <u>路線バス利用の場合</u> ・仙台空港より岩沼市民バスに乗りし「玉浦食彩館」(所要約13分)にて下車後、徒歩約11分 ・JR東北本線岩沼駅より岩沼市民バスに乗りし「玉浦食彩館」(所要約10分)にて下車後、徒歩約11分 ※いずれも平日の限られた時間帯のみの運行ですので、あらかじめ岩沼市HPで時刻を確認してください https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kurashi/kotsu/shimin-bus/	
各地からの 所要時間		・仙台駅から車で約40分 ・仙台空港から車で約12分 ・松島海岸から三陸自動車道～仙台東部道路を經由して車で約45分	

5. 情報②

トイレ	岩沼みんなの家：男性、女性共用 ※男性用、女性用、バリアフリートイレは2025年4月から利用開始予定 千年希望の丘（相野釜公園）：男性用・女性用・バリアフリートイレ いわぬまひつじ村：男女共用1室			
バリアフリー	岩沼みんなの家：バリアフリートイレは2025年から利用開始予定 千年希望の丘：バリアフリー対応 いわぬまひつじ村：対応なし	売店	あり ジェラート、野菜（日による）、煎餅、米、酒など	食事 あり ・昼食提供可（別料金、プログラム申込時に連絡） ・カフェ機能あり 各種ドリンク アイスクリーム
その他				

6. 注意事項

服装	歩きやすい服装・靴、雨具
雨天時の対応	決行（雨具持参必須） ※内容が変更になる場合あり
その他	バス等での移動が必要なプログラムです。移動手段がない場合は、岩沼みんなの家での語り部、もしくは千年希望の丘での語り部と見学のみになります。実施場所をご相談ください。

7. 災害時の対応

周辺の避難場所	プログラム中に避難を要す場合は、スタッフが自治体の指示に従い避難誘導します
---------	---------------------------------------

8. 出張・オンライン対応

出張対応	出張震災語り部可能	オンライン対応	オンライン震災語り部可能
------	-----------	---------	--------------

9. その他

事前学習資料	岩沼みんなの家 by infocom ホームページ URL： https://minnanoie-iwanuma-infocom.com/	
外国語対応	通訳を介しての案内可 内容は要相談	
周辺施設	竹駒神社：岩沼みんなの家より車で約10分 津波復興祈念資料館 閑上の記憶：岩沼みんなの家より車で約16分 名取市震災復興伝承館：岩沼みんなの家より車で約16分 名取市サイクルスポーツセンター：岩沼みんなの家より車で約17分 かわまちてらす閑上：岩沼みんなの家より車で約18分	

10. お問い合わせ・お申込み先

問合せ 申込み先	一般社団法人 岩沼みんなのアグリツーリズム&イノベーション 080-9696-5025（岩沼みんなの家 そなえ付け携帯） minya.infocom●gmail.com（●を@に変更してください）	
申込期限	実施希望日の1か月前まで（原則）	

11. 案内ルート（例）：所要時間5時間



ご案内コース例

【岩沼みんなの家のSDGs研修～みんなの震災伝承・防災学習～（5時間コース）】

※300分コースの場合、途中で昼食を挟みます。岩沼みんなの家で昼食のご提供ができます。（別料金、要相談）

※150分コースでは、岩沼みんなの家についての説明、岩沼震災語り部、千年希望の丘の見学を実施します。

集合・説明

岩沼みんなの家 by infocom

地域の“みんな”が集い、絆をつなぎ、交流できるよう建てられたコミュニティ施設です。津波で被災し居住することができなくなった沿岸地区と集団移転先として新しく造成した玉浦西地区とをつなぐ役割を担っています。地元野菜をたっぷり使った食事が楽しめるカフェや、野菜や加工品の直売、季節のイベントなどを行っています。



講話

岩沼震災語り部(60分)

岩沼みんなの家を拠点に活動する「一般社団法人 岩沼みんなのアグリツーリズム&イノベーション」の代表理事 谷地沼富勝氏が、東日本大震災の経験や教訓を話します。震災発生直後に避難場所となった小学校での被災者対応、避難所や仮設住宅での支援活動、地域の人々との関わりなどから、災害から命を守るために、日頃から防災意識を持つこと、地域のつながりが大切であることなどの教訓を伝えます。



バス移動(約20分)

岩沼市が復興事業で整備した、防災集団移転地「玉浦西団地」とかさ上げ道路「玉浦希望ライン」を通ります。沿岸部から内陸への防災集団移転、および津波被害の軽減を図る多重防御による減災対策について解説します。

見学

千年希望の丘(60分)

(相野釜公園・千年希望の丘交流センター)

津波により居住できなくなった沿岸に約10kmにわたり整備された、震災の記憶や教訓を伝えるメモリアルパークです。6つの公園と津波の一次避難場所になる14基の丘を整備。丘の土台などには、人々の暮らしの証、震災ガレキ(※)が使われています。また、丘の周りに植えられた木が緑の堤防を作りあげ、津波の威力を減衰させる役割を担っています。

※震災ガレキ：津波で流された家屋の基礎などの震災廃棄物や津波堆積物。岩沼市内の震災ガレキ約90%が、千年希望の丘に活用されています。



バス移動(約10分)

見学

いわぬまひつじ村・ひまわり農園(50分)

震災前多くの人々が暮らした集落「二野倉」に作られた複合施設です。災害危険区域となり居住ができなくなった二野倉が、再び人のぬくもりある場所になること、震災や地域の記憶の風化を防止することを願い作られました。ひつじの牧場、農園、ドッグランなど子どもから大人まで楽しむことができ、にぎわいと交流が生まれています。プログラムではひつじの餌やり体験のほか、時期により農業体験もできます。（要相談）



バス移動(約10分)

ワークショップ

SDGsワークショップ(50分)

プログラムのふりかえりとして行うワークショップです。SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」を達成するために何ができるか、各々が感じる社会課題、プログラムを通じて感じたことなど、参加者の学校種別や学校の学びのイメージに沿ったテーマで、感想の共有や意見交換します。また、避難所生活で使用する折りたたみ式のパーティーションを用いて、組み立てから片付けまでの体験を行うこともできます。

